

## ホームルーム活動（人権）学習指導案

1 主 題 名 設計図からユニバーサルデザインを考える

2 主題設定の理由（省略）

3 ね ら い

設計図をとおして、ユニバーサルデザイン住宅の知識を習得するとともに、誰もが快適に暮らすことのできる住宅設計の基礎的な能力を養う。

4 指 導 計 画

(1) これまでの学習

第1回 自分の進路について人権の視点から考えよう（講演会）学年集会・・・1時間

第2回 就職差別につながると思われる14項目・・・・・・・・・・・・・1時間

第3回 高齢者の人権・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1時間

(2) 本時の学習

第4回 設計図からユニバーサルデザインを考える・・・・・・・・・・・・・1時間(本時)

(3) これからの学習

第5回 結婚のあり方について考える・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1時間

5 本 時

(1) 目 標

高齢者・障がい者など、あらゆる人の立場に立った建築設計能力を高めることにより、誰もが暮らしやすい住宅設計の基礎的な知識と社会づくりをめざそうとする態度を養う。

(2) 普遍的な学習のテーマ・・・・・・・・基本的人権の尊重

個人人権課題名・・・・・・・・女性，子ども，高齢者，障がい者

(3) 展 開

過程	学習活動	指導上の留意点	評価
導入 (5分)	○本時の学習内容を知る。	○身近にあるバリアフリーについて考えさせる。	
展開 (40分)	○住宅におけるバリアフリーの対象者について理解する。  ○班で障壁となる場所、対象者、必要となる配慮について、話し合いまとめる。  ○班での意見を発表する。  ○誰もが快適に暮らせる住宅設計について出された意見をワークシートにまとめる。	○住宅におけるバリアフリーの対象者について考えさせる。  ○ワークシート（設計図）を配付し、作業方法を示し、設計図から住宅内の障壁について考えさせる。  ○発表で出た意見を板書し、生徒が他の意見も理解できるように努める。  ○場所・対象者・配慮する項目が重なることに気付かせ、ユニバーサルデザインについて考えさせる。	○対象者の立場に立って考え、班で意見を出し合い、まとめることができる。 (技能的側面)  ○班の意見に関心をもち、話を聞く姿勢ができている。 (価値的・態度的側面)  ○誰もが暮らしやすくなるよう、様々な視点から物事を考えることができる。 (価値的・態度的側面)
まとめ (5分)	○本時を振り返り、まとめを聞く。	○本時の学習内容のポイントを復習させ、感想を書かせる。	